



憧れの“アメ車”は乗るのも眺めるのも最高です

揖斐川で川遊び豊かな自然は最高の遊び場です



PROFILE

奥富昭太さん(33)

代々猟師の家系に生まれ、20歳で狩猟の免許を取得。溪流釣りも趣味で、とことん自然を愛する生粋のアウトドア好き



「ガレージに飾っている鹿は、先週獲ったんですよ。そう誇らしげに話すのは奥富昭太さん。運送業を営む傍ら、猟師として活躍しています。「狩猟が許されるのは11月〜3月。その時期は日の出前から山に向かいますね」と話します。そんな奥富さんが感じる池田町の魅力は、自然と都会への近さ。「車で5分走ると、山に着くのはありがたい。オフシーズンは家族サービスで動物園や水族館に出かけるのですが、名古屋への距離も近いので便利ですね」と笑顔を浮かべました。

VOICE 1

「ほどよく田舎」がちょうどいい!



店舗の一部をギャラリーにしイベントを開催



店舗前の小屋を活用し、地域の人々と交流しています



PROFILE

土川修平さん(65)

岐南高校や郡上北高校などで教職に就いたのち、土川商店を継ぐ。池田山麓クラフト展など、さまざまなイベントに携わる



土川修平さんの家は、150年続く生活雑貨店。県内の高校で教師をしていた土川さんは、定年退職後に母親から店を継ぎました。店舗には買い物客以外にも多くの人が訪ねてきます。土川さんは「自然と文化があふれる町にしたい」という思いから、アートイベントを開催してきました。その経験を生かし、地域活性化を願う若者の相談役として、そつと背中を押しています。「池田町は調和がとれていて住みやすい。生涯、安心して暮らせるまちですね」と魅力を語りました。

VOICE 2

近隣とのあたたかな交流が魅力です



ENJOY IKEDA LIFE

楽しく、快適な生活が待っている
地元住民に聞く池田町ライフの魅力

豊かな自然と利便性が両立した池田町。そんな池田町での生活は、楽しさがいっぱいです



池田町企画課 國枝大樹、小倉優里

池田山や揖斐川など、豊かな自然を有する池田町。一面に広がる田畑は、まさに古きよき日本の原風景。緑あふれる景観の美しさは、池田町を訪れたなら、すぐに実感できるでしょう。ゆつたりと静かに暮らせるのではと期待が膨らみます。名古屋など都市圏へのアクセスもよく、利便性に富んだ立地も魅力。大型の商業施設もあり、生活しやすい環境が整っています。では、長年にわたって池田町で暮らしてきた人は、どのような印象を抱いているのでしょうか。話を聞いたのは生まれも育ちも池田町の2人。「休日の過ごし方」をテーマに、わが町の魅力を語ってもらいました。